

令和6年度 府中町立府中北小学校 学校評価自己評価表【当初】

学校教育目標	自ら育つ	経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション) ○基礎学力の定着と向上、活用力の育成による確かな学力を育む。 ○地域や社会とのつながりの実感をもち、大切に思う心情を育む。 ○「あいさつ」や「感謝」を大切に、自らの生き方を考える力を育む。 (ビジョン) 【目指す学校像】 ○子どもが豊かに育ち、教職員がいそいそと働き、家庭、地域から信頼される学校 【目指す児童像】 ○見通しをもち、自ら意欲をもち、互いの良さを認め合い、共に育ち、夢や目標をもち、粘り強く挑戦する子 【目指す教職員像】 ○教育公務員としての誇りをもち、児童の伸長を喜びあい、組織の一員としての責任と自覚をもち、協働し、互いに高めあい、自らの資質・能力向上をめざす教職員
--------	------	--------------------	--

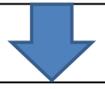
ビジョン(中間経営目標)実現に向けての現状(進捗状況)と今年度の位置付け	・児童が主体的に活動する場面をパフォーマンス課題として設定し、探究的な学びにつながるよう総合的な学習の時間・生活科を中心に取り組むとともに算数科においては、児童の学ぶ喜びを高め確かな学力を定着させるための研究に取り組んできた。一定の成果を上げることはできたが、今年度はさらに、主体的に学び続けることができる学習力やよりよい社会をつくるという未来志向の意識を醸成し、そのために必要な資質・能力を育むこと、また、「あいさつ」ができる子、「感謝」ができる子、「志」をもつ子を育む。
--------------------------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定して3年目)

中間(3年間)経営目標	短期(今年度)経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	評価結果			
					10月		2月	
					達成値	評価	達成値	評価
a 確かな学力	○授業改善を基盤とした基礎学力および活用力の定着と向上	・生活科、総合的な学習の時間を中心に、思考力、判断力、表現力、発信力を育むNIE活用。 ・授業改善による授業力の向上及び基礎的、活用的学力の定着と向上。 ・中学校区での共通課題解決に向けた共同研究推進。	・国語科、算数科単元末テストにおいて総得点達成率が80%を超える児童の割合 ・標準学力調査において全学年平均点以上 ・一人1授業提案	80%以上				
	○家庭学習の充実	・家庭学習の在り方の検討及び取組の充実。	・主体的に学習をする児童の割合。(北小アンケートでの肯定的評価)	80%以上				
b 豊かな心	○自分も相手も大切に する豊かな心の育成	・ピア・サポートの積極的で計画的な活用と充実。 ・児童による主体的活動を通じた自己有用感、自己効力感、回復力を高める取組の推進。	・児童アンケートによる自己有用感を感じられているかという項目への肯定的評価をしている児童の全校児童数に対する割合。	80%				
	○規範意識を育む生徒指導の充実	・積極的生徒指導の推進、全教職員による組織的指導。 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応、情報共有によるいじめを許さない組織的対応。 ・府中町基本目標「あいさつ」「感謝」「志」と各取組の運動と意識化。	・あいさつの評価基準を満たす児童の全校児童数に対する割合。	60%				
c 健やかな体	○体力づくり推進による体力・運動能力の向上	・基礎体力、運動能力向上のための組織的取組の充実。	・握力、ソフトボール投げで、各学年平均得点(C判定)を上回ることの達成率	80%				
	○基本的生活習慣の定着	・基本的生活習慣づくりに向けての取組の充実。	メディア時間 1時間以内 7日中4日間の達成率	70%				
d 信頼される学校	○計画的業務改善の推進	・個々の教職員による見通しをもった勤務管理の推進。 ・計画的な分掌部会及び戦略的な企画運営会議の実施。	・児童・生徒と向き合う時間が確保できていると思う教員の割合(教職員アンケート)	80%以上				
	○コミュニティ・スクールの充実	・コミュニティ・スクールによる教育活動や地域諸団体との連携及び情報共有の推進。	・ゲストティーチャー来校者(オンライン学習を含む)延べ人数	各学年 15人以上				



結果の分析・解釈			



改善方策			
学校の大きな方向性に照らして			



学校関係者評価を受けての来年度の重点・方針			

【評価規準】A:目標達成(95%~100%)B:おおむね達成(80%~94%)C:もう少し(60%~79%)D:できていない(59%以下)